



多摩辺

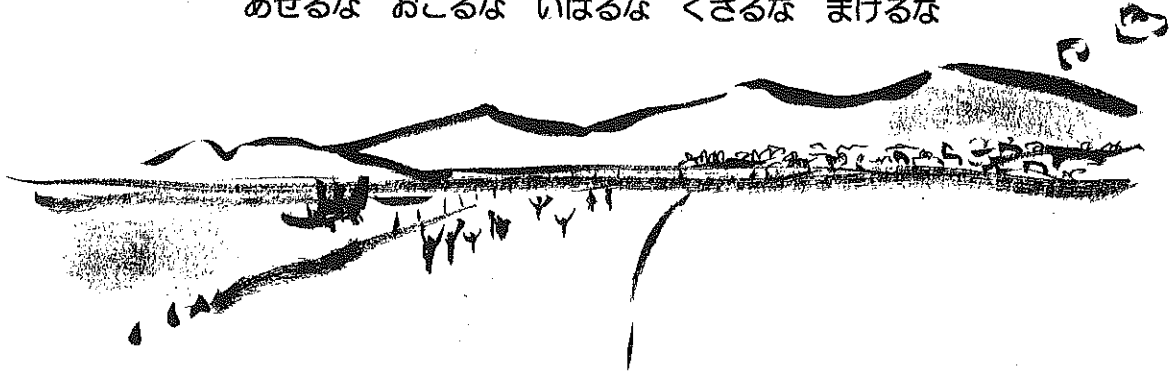
学校だより

昭島市立多摩辺中学校

校長 相部公太郎

令和3年8月27日

あせるな おこるな いばるな くさるな まけるな



これは、ものまねタレントのコロッケさんの母親の教えだそうです。コロッケさんは、右耳がほとんど聞こえないそうです。中2の時に真珠腫性中耳炎と診断され、難聴になりましたが、小2の頃から患っていても、母子家庭で生活が苦しく、言い出せずに悪化させてしまったそうです。家の柱には母親の字で書かれた黄ばんだ紙が貼ってあり、「あせるな／おこるな／いばるな／くさるな／まけるな」。これを自身に言い聞かせて、物まねの道でも心掛けてきたと、自著「母さんの『あおいくま』」につづっています。

この夏休みに、オリンピックが実施され、パラリンピックも始まりました。テレビで皆さんも選手たちの活躍を目にしたことでしょうか。焦らず、怒らず、威張らず、腐らず、自分に負けず。そうした心掛けで苦難に打ち勝ってきた選手もいるのではないのでしょうか。学ぶべきは、晴れ舞台にたどり着くまでの過程です。選手たちは練習や生活に、忍耐や我慢が厳しく求められます。コロナ禍を克服する上でも欠かせない要素の一つだと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、3年生の修学旅行と2年生の校外学習は延期です。また、様々な教育活動に制限がかかっています。しかし、今一度思い出してください。昨年の緊急事態宣言で学校が休校になった日々を。休校が明け、久しぶりに登校して、当たり前の日々が、実は当たり前ではなかったと知ったあの日を。

パラリンピックの礎を築いたルートヴィヒ・グットマン医師は言いました。「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」と。

さあ、今日からいよいよ2学期が始まります。新型コロナウイルス感染症防止に向けて、一人一人が焦らず、怒らず、威張らず、腐らず、自分に負けずに一日一日を過ごさなければなりません。支え合い助け合って2学期を乗り切っていきましょう。【2学期始業式の講話より抜粋】

保護者・地域の皆様へ

まだまだ残暑厳しい毎日が続いていますが、朝夕は、しのぎやすくなってきました。本日、38日ぶりの全校生徒との再会を楽しみに始業式を迎えました。登校した生徒たちの表情を見ますと、何となく、ひとまわりたくましくなったような雰囲気広がっていました。また、本校の生徒は、大きなトラブル・事故に遭うことなく無事に夏休みを過ごすことができました。これも、夏休みの期間、地域で生徒たちを見守っていただくなど、保護者・地域の方のお力があってのことです。ありがとうございました。2学期も「チーム多摩辺」で生徒たちの成長に向けて取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症防止対応と本校の教育へのご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応について ～9月12日(木)緊急事態宣言下

- 1 感染症予防について
 - (1) 3密の回避、手洗い・手指消毒の徹底、マスク着用、30分に1回以上の換気
 - (2) 健康観察の徹底
- 2 授業（感染症防止対策を講じてもなお飛沫感染の可能性の高い学習活動の中止）
 - (1) 家庭科における調理実習
 - (2) 合唱と管楽器演奏等
 - (3) 体育における身体接触を伴う活動
 - (4) 生徒が対面で操作したり、顔を寄せ合い観察したりする実験や観察・実習
- 3 学校行事
 - (1) 3年修学旅行 3月に延期
 - (2) 2年校外学習 3月に延期
- 4 部活動について
 - (1) 原則中止
 - (2) 大会のある部活動のみ週4回以内で実施。少なくとも平日1日、週休日1日の休養日を設ける。1日当たりの活動時間は、準備片づけを入れて2時間以内。
- 5 出席停止となる場合
 - (1) 感染した場合（本人と同居の家族）
 - (2) 濃厚接触者と特定された場合（本人と同居の家族）
 - (3) PCR検査を受ける場合（本人と同居の家族）
 - (4) 発熱等風邪症状がある場合（本人と同居の家族）
 - (5) ワクチン接種を受ける場合とワクチン接種による副反応がでた場合（本人）

*家族以外で感染者と接触し、濃厚接触者に該当するおそれがある場合（要連絡）

*詳しくは、本日配布しました「2学期の開始に伴う新型コロナウイルス感染症対策の一層の徹底について（お願い）」をご参照ください。

夏休みの活躍

東京都中学校選手権サッカー大会
東京都中学校吹奏楽コンクール

ベスト8
銀賞

サッカー一部
吹奏楽部